



進路だより

令和5年度 第2号
令和5年 6月28日
島根県立大東高等学校
進路部 発行

総力特集：「7月進研模試」

1学期の期末試験が終わりました。ほっとしている人も多いと思いますが、次にみなさんを待ち構えているのは「進研総合学力テスト」通称「進研模試」（以下「模試」という。）です。今回の進路だよりではその特集をします。

実施日：1, 2年生：7月5日(水), 3年生：7月7日(金)・8日(土)
実施教科：1年生・・・3教科 [国語(60分/100点) 数学(80分/100点) 英語(60分/100点)]
2年生・・・3教科 [国語(80分/100点) 数学(100分/100点) 英語(80分/100点)]
3年生・・・5教科 (受験教科は、文系・理系によって異なります)
[国語(100分/200点) 数学(100分または120分/200点) 英語(100分/200点)
地歴公民(各60分/各100点) 理科(各30分×2または各60分/各100点)]

全国模試は各学年によって目的や活用法が異なります。自分の学年の目的をよく読んで、参考にしてください。

どの学年にも共通すること、そして最も大切なことは、「模試でいい成績をとるために頑張る」ことではなく、「模試を通して日ごろの学習成果を確認し、弱点を補強すること、そして進路意識を高めること」です。有効に活用しましょう。

～今回の模試の目的～



1年生の目的

▼初めての全国模試を通して、45万人の中での自分の学力を確認する。

今回の模試は、高校入学後初めて受験する「全国模試」です。みなさんの中には「期末テストが終わった直後なのになんでまた試験？」と思う人がいるかもしれません。しかし、普段学校で受けているテストの受験者母数は、本校1年生の68人です。それに対し、今回の模試では全国約45万人もの「同級生」が一度に受けます。みなさんの多くがいずれ全国の何十万人という受験生を相手に戦うことが強いられます。自分の学力が全国の高校1年生の中でどれくらいの位置なのかを確認しましょう。校内順位で一喜一憂せず、視野を広げて自分の成績を見直すことが必要です。

▼現時点での弱点分野をチェックする。

入学して約3か月高校での学習をしてきました。模試は今までに学習した項目を中心に幅広く出題されます。今回の模試を通して、現段階で国語・数学・英語の学力がどれくらい身についているか、また弱点分野がどこかをチェックしましょう。

▼進路や入試を考えるきっかけにする。

みなさんはまだ高校に入ったばかりで、その先のことなどなかなか考えられていないかもしれません。ただ、いつかどこかで進路や入試に対して考え始めないと、今の何も考えられない状態のままで3年生になってしまいます。今回の模試をきっかけに、進路や受験について一度考えてみましょう。

2年生の目的

▼志望校を考える。

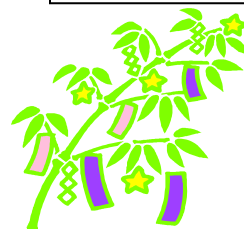
今回の模試から「志望校判定」が行われます。ただ何となく知っている学校名を書きならべても何の意味ありません。事前に進路についてよく考え、理解を深めておきましょう。また、結果から「どのくらい頑張れば希望進路の実現に近づけるのか」を確認しましょう。

▼高校生活折り返し地点での基礎学力をチェックする。

早いものでもうすぐ高校生活も折り返し地点に到達します。よく言われることですが、多くの教科で2年次終了時までで大学入学共通テスト出題範囲のほとんどの学習内容を終えます。これまで充実した学習ができましたか？ 2年生になって初めて受ける今回の模試を通して、自分の学力が全国約45万人の高校2年生の中でどれくらいの位置なのかを確認し、自分の課題や弱点をしっかりと確認しておきましょう。

▼国数英のバランスを確認する。

3年生になってからの受験では国数英の3教科だけでなく、地歴公民や理科も必要になってきます。したがって、3年生に進級してからは国数英の3教科の学習に費やせる時間がどうしても減ってしまいます。みなさんは国数英の自分の成績を示す三角形を見たことがありますよね。いびつな二等辺三角形になっていませんか？ 大学入学共通テストでは国数英の3教科の合計得点が非常に大きなウェイトを占めます。3教科のうちいずれかが極端に苦手な場合、2年生のうちに早急に対策しなければなりません。まだ間に合います。そのバランスを確認するという意味でも大切な模擬試験です。



3年生の目的

▼「受験生」としての意識を一層高める。

県総体が終わって1ヶ月近く経過しました。放課後遅くまで残って勉強している3年生もよく見かけられます。8月までの今のこの時期は、受験勉強の基礎固めをすべき時です。できるだけ早く「受験生」としての生活習慣そして学習習慣を確立して学力をつける必要があります。6月の大学入学共通テスト模試（通称「6月進研マーク模試」）が終わった後ですが、多くの人は部活動を引退した「受験生」として受ける2回目の模試です。意識を一層高めて現在の実力を確認しましょう。

▼夏休み以降の受験勉強の課題を見つける。

今回の模試結果が返ってくるのは8月下旬、つまり2学期スタート時です。今回の模試を通して、2か月後の自分に「ここが自分の課題だぞ」というメッセージを送ることになります。事前にできる限り弱点を補強し、本当の課題をあぶりだそう。

▼最新入試情報を反映した志望校成績を活用する。

2024年度入試科目・配点など最新入試情報を反映した成績データが返却されます。実際に自分の志望校の受験科目を意識し、活用する模試にしましょう。

1年生 初めての全国模試！有効に活用するには？

7月5日に高校生になってから初めての全国模試となる進研模試を受験することになります。模試は普段のテストと異なり、明確な試験範囲はありません。これは、定期試験が授業で学習した内容の「復習テスト」であるのに対し、模試は日頃の学習した成果がどれだけ定着しているかを確認する「実力テスト」であるからです。

そして今回、「実力テスト」である「7月進研模試」を受ける前にぜひやってもらいたいことがあります（「実力」テストだから何も準備しなくてよいわけではありません）。それは、各教科の定期試験（期末試験）を見直して復習することです。

学力は以下①～⑤のプロセスを経て、向上していきます。

①授業の予習 → ②授業 → ③授業の復習（課題） → ④定期試験 → ⑤定期試験の見直し・復習
定期試験ではそれぞれの教科の重要な内容が出題されています。その内容を定着させておくことはとても大切です。しっかり復習しておきましょう。

最後に、模試は自分の学習到達度を確認するものであると同時に、その成績は日々の授業の取り組みを反映するものです。実力は授業や定期試験を大切にしたら結果として身につくものです。返却された成績が想像以上に悪かった場合は日々の自分の学習スタイルを再考してみるとよいでしょう。

2年生 志望校を真剣に考える時が来た！！

2年生になって約3か月が経過しました。学習に関してはどうでしょうか？ 1年生のときの自分と比べて何か変化があったでしょうか。

受験に関しては、実は2年生が勝負の年です。部活動を頑張っている人も、ぜひ学習に対しても前向きに取り組んでほしいものです。

7月5日に進研模試が実施されます。人間は忘れる生き物。今まで通りしっかり復習をして受験しましょう。「忘れてる」ということがみなさんの実力ではないはずです。

ただ今回の模試はこれまでの模試とは一味違います。それは、**志望校判定をしてくれる**こと。志望校判定とは、今の自分の実力で自分が希望する大学に合格する可能性を判定してくれるシステムのことで、ぜひ有効に活用してほしいと思います。

しかし、多くの人はまだ具体的に志望校が決まっていないのではないのでしょうか。今回の進研模試をきっかけに、自分の進路先のことをよく考えてみましょう。そして、よく調べてみましょう。具体的な志望校が決まれば目標ができるということです。ぜひ目標を定めて、日々の学習にしっかりと取り組んでほしいと思います。

3年生 判定や偏差値に一喜一憂することなかれ！！

今後皆さんが受験する「マーク模試」は大学入学共通テストを想定しており、「記述模試」は国立大学の個別学力検査（通称「2次試験」）や私立大学の一般入試を想定した、いわゆる「2次力」をはかるための模試です。

今回の「7月進研模試」は「記述模試」で、全国30万人以上の高校3年生や浪人生が受験します。その結果が返ってきたとき、偏差値や全国での順位を確認して自分の位置を知ることは重要なことですが、A判定（合格の可能性80%以上）やE判定（同20%未満）がついた場合は、現在の自分の志望校が適切であるかどうか再考する必要があります。しかし、**今の段階では判定や偏差値に一喜一憂することなく、学力の基礎固めをすること、つまり自分の学力を伸ばすことに集中しましょう。**

毎日の授業を大切に、予習・復習・課題・小テスト等にしっかり取り組みましょう。また、模試の問題と解答・解説を捨てないで、休日に模試の解き直しをしましょう。

模試を受験することで自分の弱点教科や分野、伸ばすべき学力が確認できるので、そこを重点的に補強できるように、夏休みの学習計画を立てましょう。

1年進路講演会を実施しました(6/8(木))

今回の1年進路講演会では、山内太地氏（作家、編集者、教育系 YouTuber、一般社団法人大学イノベーション研究所所長）に来校いただき、「将来の進路の考え方」というタイトルで講演をしていただきました。

山内先生ご本人がこれは講演ではなく、演劇だとおっしゃっていましたが、教育系 YouTuber と言われているだけあって、早いテンポで話をされ、10分くらい話したら2分休憩というのを3回繰り返すという形態で説明されました。

「能動的な学習の大切さ」「社会に必要とされる人間になるためには、与えられたモノだけではダメで、本を読んだり、人類の課題（医療、政治、経済、科学、環境、芸術）に関心をもち、自分で調べ、行動し、発表したりすることが大切であること」、「大学と専門学校の違い」、「大学の学部の内容」、「私の強みとは何か」、「大学の3ポリ（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）を読んで志望理由書を書いてみるの大切さ」など幅広い進路に関する話を聴くことができ、生徒の皆さんにとって進路を考える上で貴重な機会になったと思います。

生徒の皆さんの感想をいくつかご紹介します。

- ずっと将来の夢がきまらなくて、不安が残っていたのですが、今日の講演を聴いて、自分が今、何をすべきかがハッキリした気がしました。期末テストも近かったので、勉強への意欲が高まりました。
- とてもインパクトがあり、話がどんどん入ってきておもしろかったし、内容もよく分かる講演でした。
- 苦手な教科を好きになるようにがんばり、自分の武器にしたいです。
- 具体例がたくさんあってとてもわかりやすかったです。まだ、自分は進路についてまったく決まっていないので今日のお話を参考にこれからの進路について考えたいと思いました。志望理由を考えておくのはとても大切なことなんだとわかりました。
- 忙しい中でもすきま時間を見つけたり、スマホを触る時間を減らすことで時間が作れて学習にあてられるようになる。短い時間でも積み重ねていけば自分の力になっていく。今日帰ってから実践して、それを継続していく。
- 私は最近、自分の夢が決まって、行きたい大学も決まりました。今日の講演のおかげで、もっと自分の将来を見つめることができました。とにかく今は自分にできることをもっと頑張って、努力を積み重ねていきたいです。
- 私に足りないのは実行する力だとわかりました。大学進学を目指しているので進路に向き合いたいと思います。
- 面接で志望理由だけではなく、自己アピールが大切なことがわかったので、高校の間にたくさん自分の強みとなることをつくっておきたいと思いました。

